



分からないときは  
先生を尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 ボランティア団体に加入する。
- 2 番組を録画する。
- 3 家庭菜園を楽しむ。
- 4 品種を改良する。
- 5 国家の富強に努める。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 国がさかえる。
- 2 きせつの変化を楽しむ。
- 3 ねんがの客が来る。
- 4 美しいけしきをながめる。
- 5 焼いた肉を野菜でつつむ。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ 1 「加」は音読みだよ。
- 2 「録」は「録音」と同じ読みだよ。
- 3 「菜」は「野菜」と同じ読みだよ。
- 4 「品種改良」という言葉は社会科でも習うよ。
- 5 「豊富」は「ふ」と読むけど、「貧乏」は「ふ」とは少しちがうよ。
- Ⅱ 1 「えいこう」「えいよう」の「えい」は「さかえる」の音読みだよ。
- 2 「きせつ」の「き」は「気」ではないよ。「せつ」は「せつぶん」の「せつ」だよ。
- 3 「が」という字は「加」と「良」の組み合わせだよ。
- 4 「けしき」の「け」は「ふらけい」の「けい」、「しき」の訓読みは「いろ」だよ。
- 5 「小づつみ」や「つつみ紙」と同じ漢字だよ。



読みかえよう  
（しんご）を真まとう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 愛着があるぬいぐるみ。
- 2 家の裏に倉庫がある。
- 3 各自でメモをとる。
- 4 有名人と名を連ねる。
- 5 具体的な事例を挙げる。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 シカのむれが山に向かっている。
- 2 げんじゅうにかんりする。
- 3 次のしゆくじつに友達と会う。
- 4 かれにはんせいをうながす。
- 5 ご飯にはお茶をかかすことができない。

1	
2	
3	
4	
5	

### 〈ヒント〉

- 一 1 「着」は「着陸」と同じ読みだよ。 2 「倉」は「くら」と読んではいけないよ。  
 3 「各」は「各地」と同じ読みだよ。 4 「山が連なる」と同じ読みだよ。  
 5 「事」は「こと」と読んではいけないよ。
- 二 1 「山田くん」の「くん」と「ひつじ」という字の組み合わせだよ。  
 2 「かん」と同じ部分がある漢字は、「官」や「館」だよ。  
 3 「しゆく」は「いろう」という漢字だよ。  
 4 「せい」は「しょう」とも読み、たとえば「文部科学しょう」と使うよ。  
 5 「けつせき」の「けつ」と同じ漢字だよ。

おぼえた  
かな？



かなはなときば  
へんと きまぞ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでていねいに書きましよう。

- 1 たん生日の記念に写真をとる。
- 2 茨の道を進む。
- 3 佐賀県の名産品を買う。
- 4 植物の生長を観察する。
- 5 手を挙げて発表する。

1	
2	
3	
4	
5	

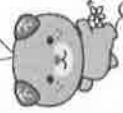
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましよう。

- 1 話し合いのぎだいを決める。
- 2 炭火で魚をやく。
- 3 友達の言葉をしんじる。
- 4 話のようてんをとらえて黒板に書く。
- 5 図書館で本をかりる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「記」は「記号」と、「念」は「信念」と同じ読みだよ。
- 2 関東地方にある「茨城県」と同じ読みだよ。
- 3 九州地方の県だよ。
- 4 夏休みに「アサガオの観察」をするよね。
- 5 「先生、あてて。」と思うことがあるよね。「上げる」と同じように読むよ。
- 二 1 「かいぎ」の「ぎ」、「だいめい」の「だい」と同じ漢字だよ。
- 2 火を使うので、部首は「ひくん」だよ。
- 3 部首は「にんべん」、つくりは「ひら」という漢字だよ。
- 4 「よう」は大切という意味で、「ようやく」にも使われるよ。
- 5 部首は「にんべん」、つくりは「むかし」という漢字だよ。



分らないときは  
先生を尋ねよう。

第 学年 組 番 名前

Ⅰ 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 なわとびの特訓をする。
- 2 昔の井戸を発見する。
- 3 五字以上、十字未満。
- 4 かばんに荷札をつける。
- 5 毎朝六時に目を覚ます。

1	
2	
3	
4	
5	

Ⅱ 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 料理をこころみる。
- 2 人と自然のかんげい。
- 3 種からめが出る。
- 4 映画をみてわらう。
- 5 交差点をうせつする。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- Ⅰ-1 「学校」は「がっこう」とつまって読むよね。
- Ⅰ-2 「いと」とは読まないよね。
- Ⅰ-3 「未」は下の言葉を打ち消すよ。完成していないことを「未完成」と言うよね。
- Ⅰ-4 「荷」は「荷物」、「札」は「名札」と同じ読みだよ。
- Ⅰ-5 「ねむりから覚める」とも言うよ。
- Ⅱ-1 「こころみる」は訓読みだよ。音読みは「しけん」の「し」だよ。
- Ⅱ-2 「かん」の部首は「もんがまえ」、「けい」は「かかり」と同じ漢字だよ。
- Ⅱ-3 植物にかんげいするから、部首は「くさかんむり」だよ。
- Ⅱ-4 「竹」と「犬」を組み合わせてできた漢字だよ。ただし、どちらも形が変わるよ。
- Ⅱ-5 「うせつ」は「みぎに曲がること」だよ。



漢字ふりかえりシート 11 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 かにゆう 2 ろくが 3 さいえん 4 かいりよう 5 ぶきよう  
二 1 栄 2 季節 3 年賀 4 景色 5 包

漢字ふりかえりシート 12 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 あいちやく 2 そうこ 3 かくじ 4 つら 5 じれい  
二 1 群 2 管理 3 祝日 4 反省 5 欠

漢字ふりかえりシート 13 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 きねん 2 いばら 3 さが 4 かんさつ 5 あ  
二 1 議題 2 焼 3 信 4 要点 5 借

漢字ふりかえりシート 14 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 ちくくん 2 いど 3 みまん 4 にふだ 5 き  
二 1 試 2 関係 3 芽 4 笑 5 右折

漢字ふりかえりシート 15 (漢字・小四) 正答例

- 一 1 だいず 2 がっしょう 3 かもち 4 どうひよう 5 ろうどう  
二 1 機械 2 希望 3 努力 4 富 5 健康



《ことわざカルタ》 その二

例にならって、□に入るひらがなを答えて、ことわざを完成させましょう。また、□に入るひらがなは下の文字群の中にかくれています。文字群の中から、答えたひらがなを探して○を付け、最後に残った文字を組み合わせてできる言葉を答えましょう。

例 い いそがば□□□ ( まわれ )

- う □□からでたまこと ( )
- ゐ いのなかの□□□ ( )
- の □□もすまればあつさをわすれる ( )
- お □□にみじかしたすきにながし ( )
- く □□はわざわいのもと ( )
- や やぶから□□ ( )
- ま □□□がかち ( )
- け □□□りようせいはい ( )
- ふ ふくすい□□にかえらず ( )
- こ こうぼうも□□のあやまり ( )
- え えびで□□をつる ( )
- て □□はあついうちになつて ( )
- あ あぶ□□とらず ( )
- さ さいげつひとを□□□ ( )
- き きのうの□□はきよりのとも ( )
- ゆ □□□たいてき ( )
- め めから□□□がおちる ( )
- み みからでた□□ ( )
- し しょうじきはいつしよの□□□ ( )
- ゑ えにかいた□□ ( )
- ひ ひに□□□をそそぐ ( )
- も □□のもくあみ ( )
- せ せいては□□をしそんじる ( )
- す □□こそものじようずなれ ( )
- ん とんでひにいる□□のむし ( )

お	び	も	ち	ま	た	ず
は	ま	わ	れ	ら	つ	び
る	か	そ	ん	か	な	さ
け	ん	う	だ	た	ど	ち
ま	け	ち	ゆ	き	の	は
つ	い	く	ず	て	ら	き
て	た	る	わ	う	ぶ	す
う	ろ	こ	か	ぼ	あ	と
ふ	で	も	と	ぼ	ん	こ

○残った文字を組み合わせてできる言葉

【                      】



# 《ことわざカルタ》 解答

□に入るひらがなは次のとおりです。

- |   |                          |   |                         |
|---|--------------------------|---|-------------------------|
| い | いそがば□□□ ( まわれ )          | こ | こうぼうも□□のあやまり ( らで )     |
| ろ | □□よりしようこ ( ろん )          | え | えびで□□をつる ( たい )         |
| は | はなより□□□ ( だんこ )          | て | □□はあついうちにうて ( てつ )      |
| に | にかいから□□□□ ( めぐすり )       | あ | あぶ□□とらず ( はち )          |
| ほ | □□□のかおもきんど ( ほとけ )       | さ | さいげつひとを□□□ ( まだず )      |
| く | □□のよこずき ( くだ )           | き | きのうの□□はきよらのとも ( てき )    |
| と | とうだいもと□□□ ( くらし )        | ゆ | □□□たいてき ( ゆだん )         |
| ち | □□もつもればやまとなる ( ちり )      | め | めから□□□がおちる ( うろこ )      |
| り | りようてに□□ ( はな )           | み | みからでた□□ ( ぎび )          |
| ぬ | □□てであわ ( ぬれ )            | し | しようじきはいつしよらの□□□ ( たから ) |
| る | るいは□□をよぶ ( とも )          | ゑ | ゑにかいた□□ ( もち )          |
| を | □□□□をたたいてわたる ( いしほし )    |   |                         |
| わ | わざわいてんじて□□となす ( かく )     | ひ | ひに□□□をそそぐ ( あらら )       |
| か | かほうは□□まで ( ねて )          | も | □□のもくあみ ( もと )          |
| よ | □□□めにたたりめ ( よわり )        | せ | せいては□□をしそんじる ( こじ )     |
| た | □□からぼたもち ( たな )          | す | □□こそものじよらずなれ ( すき )     |
| れ | □□□はくりかえす ( れきし )        | ん | んとんでひにいる□□のむし ( なつ )    |
| そ | そんして□□とれ ( とく )          |   |                         |
| つ | □□とすつぽん ( つき )           |   |                         |
| ね | ねこに□□□ ( にばん )           |   |                         |
| な | なさは□□のためならず ( ひと )       |   |                         |
| ら | らいねんのことをいえば□□がわらう ( おに ) |   |                         |
| む | □□□とつたきねづか ( むかし )       |   |                         |
| う | □□からでたまこと ( うそ )         |   |                         |
| ぬ | いのなかの□□□ ( かわず )         |   |                         |
| の | □□もとすぎればあつちをわすれる ( のど )  |   |                         |
| お | □□にむじかしたすきにながし ( おひ )    |   |                         |
| く | □□はねぞわいのもと ( ぐち )        |   |                         |
| や | やぶから□□ ( ほう )            |   |                         |
| ま | □□□ががち ( まける )           |   |                         |
| け | □□□りようせいばい ( けんか )       |   |                         |
| ぶ | ぶくすい□□にかえらず ( ほん )       |   |                         |

※ 最後に残った文字を組み合わせてできる言葉は、省略しています。

七じのけいこのノートに書いて練習しよう。

中級① 漢字のうた

ぎょきょう ばん みなとまち  
漁協のかん板、港町。

たいへいよう む あ しず ふなで あさ ま  
太平洋と向き合つて、静かに船出の朝を待つ。

かぞく みおく  
家族そろつてお見送り。

たいりょうぼた め お おおがたぎよせん なみ ち  
大漁旗を目で追つて。大型漁船、波が散る。

じだいまつ こと みち  
時代祭りの古都の道。

きもの ぎょうれつ ふえ おと ろじ つら さんかんしや  
着物の行列、笛の音。路地まで連なる参観者。

つ びと うだいじん  
付き人たくさん、右大臣。

りょうて ゆみや いさ ようこうあ おおじ  
両手に弓矢、勇ましく。陽光浴びて、大路ゆく。

中級② 漢字のうた

ふる みせ い か たは おびむす  
古い都で衣しよう借り、かみを束ねて帯結ぶ。

べつじん がお  
別人になり、すまし顔。

うめ こうきゅうひん  
梅のかんざし高級品。

かがみ まえ あいそ みかえ びじん き  
鏡の前で愛想よく、見返り美人の決めポーズ。

だいかん ひ たび やど あた いちめん ぎんせかい  
大寒の日の旅の宿。辺り一面、銀世界。

さんみやくしず よこ  
山脈静かに横たわる。

りゅうひょうけんぶつ きた うみ  
流水見物、北の海。

つめ かせ の きゅうそく かい コー  
冷たい風に乗るカモメ。急速せん回、Uターン。